

経過

保育者の気付き

保育者の援助・環境構成

子どものつばやき

保育者のつばやき

# 年長組になる頃に咲くチューリップ

4歳児さくら組 1月上旬～2月下旬

11月上旬:学級の友達と出会ったりつながりを感じたりして欲しいと願い、2人組になってチューリップを植えました。



そっと土をいれよう

土の中に入って  
本当に寝てるみたい

すみれ組になった頃に  
咲くんだって、楽しみだね



芽が出てきた!  
固いね。ツノみたい。



温かい日や寒い日が続き、チューリップの芽が出てきました。

私と〇〇ちゃんのチューリップ  
芽が出て嬉しいね。



春休みの間に咲いちゃったら  
どうしよう。



水とお日様がごはんなんだね

芽が出たことに気付き、チューリップを植えた友達と一緒に喜び合ったり、植えた時にも感じた花が咲くことへの期待を思い出したりする姿がありました。

雨が降らないってことは  
水があげられないってこと?

1月下旬から2月9日まで雨が降らず、乾燥した日が続いたため、雨水タンクの水が出なくなりました。

これは雨の水だったんだね

雨が植物にとって大事な栄養になるということを知って欲しいと思い、1月中旬に“雨水タンク”について話をしました。



雨の水を貯めて、花や野菜の水やりに使えることを話しました。

出てきた芽も少しずつ高くなり興味をもって観察したり水やりをしたりするようになりました。

雨! 降れ!!!

私たちの使う水はまだ出るよ

花にあげるための水でしょう

芽が出るまでに時間がかかりましたが、見えるように置いておくことで毎日観察する姿が見られました。



雑草が生えてるよ

保育者:小さいのがたくさん生えてるね、どうしようか...

ほんとだあ。ほかの花も咲くのかな

2月中旬:2人のチューリップであることを感じられるように相手の友達に知らせるようにしたり、保育者が間に入りながら一緒にどうするか考えたりしました。

どの鉢にも少しずつ草が生えていることを見て、学級で話をしました。

保育者:チューリップじゃないものも生えてきてるね

学級や2人組で見たたり話したりすることで、チューリップや草にも気持ちを寄せて考える子どもたちの姿がありました。保育者も一緒になって気付いたり感じたことを話したりする大切さに気付きました。

採ったらかわいそうじゃん? だからとらないよ

えー、私は取りたいな...

チューリップと一緒に育てる?



# 種まきしない花壇を追って

5歳児すみれ組4月~2月

昨年度のすみれ組が作った「種まきしない花壇」を引き継ぎました。

**5月**  
学級で見にいくと、いくつかの草が生えていました。



鳥が種を運んできたのかな？

雑草は種が無くても出てくるんだよ。

**6月**  
きのこが生えていました。

毒キノコかも！？

保育者：一応触らないでおう。

晴れの日が続いた数日後、きのこはいつのまにか枯れていました。

**7月**  
種まきしない花壇にたくさんの植物が芽を出し、生長しました。



雨が種なんじゃない？

右と左で生えてる草が違うな

去年のすみれさん実は種を入れてたかも。

種植えていないはずなのに不思議。

**9月・10月中旬**  
今のすみれ組は種まきしない花壇を最初から追っていません。そのため、新しい何も入っていない土にすべく、花壇の植物を一掃し、土を入れ替えました。

何の幼虫だろう。コガネムシかな？飼ってみよう。



何食べるんだろう。ゼリー入れなきゃ！

まだ幼虫いるかも。一番下まで掘ってみよう。



18匹も見つけたよ！どこから来たのかな。



あ！花壇の中から幼虫！

虫かごに土が必要。コガネムシになるかな？

根っこが凄い！みんなで力を合わせて抜くぞ！



種や実、貝殻みたいなものも出てきたよ。どうして入っているんだろう。



保育者：そういえばキノコ、種まきしない花壇にも、カプトムシのケースにも生えたよね。

カプトムシのケースに生えてたキノコと何か違う。

見て！こんなに小さくなった！

タブレットや図鑑で調べましたが、これが何かは未だ不明のまま。きのこはカップに入れて観察しているが、キノコは日に日に小さく萎んでいった。



これはなんだ？洗ってみよう！

きのこ・・・？図鑑やIpadで調べてみよう。

新しい土を入れよう。また草が生えてくるのかな？



**12月**  
「種まきしない花壇」を探る手掛かりの一つとして、  
学級で絵本『あかいみとり』を読みました。

**12月**  
学級で芽が出ているか見に行きましたが、芽は出ておらず。  
外から飛んできた葉っぱや草などが種まきしない花壇に  
入っていました。



保育者：鳥の糞に種が混じることもあるんだね。

種は色々な運ばれ方をするんだね。

実は苦いと良いんだね。

西戸山幼稚園にも赤い実あった！

保育者：クリスマスリースに使ったよね鳥も見つけたから少なかったのかな。



保育者：やっぱりでてないか・・・。

やっぱり種をまかないと芽はでないよ。

芽が出るにはもっと時間が必要なんじゃない？

**1月**  
種まきしない花壇には芽が出ないけれど、冬野菜のプランターには色々な芽が出ていることを不思議がり、理由を考えました。その際に土の違いを共有しました。  
○種まきしない花壇→買ってきた土  
○冬野菜のプランター→夏野菜を育てた土+腐葉土

**2月13日**  
種まきしない花壇をアクリル板で区切り、  
畑の土と腐葉土を一人一掬いずつ混ぜました。

種まきしない花壇に畑の土とかを混ぜてみたらどうなるかな。

**畑の土**

プランターにこんなに草が出てたんだ。野菜の栄養が取られちゃうね。

**腐葉土**

臭いな。でも栄養になるんだよね。こだけ草ボーボーになるかも。

**2月17日**  
畑の土を混ぜたところから、芽が出てきました！

本当に芽が出た！何の芽だろう？

まだこっち（腐葉土・何も混ぜていない土）は芽が出てないな。

こんなにすぐ出るの！

**保育者の気付き**

- ・種まきしない花壇を追うことで、自分達の身の周りの自然に目が向きやすくなり、環境の繋がりをを感じる姿がありました。
- ・幼児の呟きや疑問を逃さずに環境に還元していったり、やって終わりではなく、繰り返し観察したくなるような環境の再構成を行う重要性を強く実感しました。
- ・事例を書き起こしてみても、教師の呟きが少なく幼児の呟きをただ共感する姿勢が多かったことに気がきました。教師も主体性を発揮しながら関わっていくことでより問いや探究が深まると教わったため、そこを意識したいと感じました。